

ちょっとひと工夫

NO.13

— 家庭学習改善のための情報 —

教学指導課

家庭学習の改善を進めている学校の工夫を、下記の改善のポイントに照らし合わせて紹介しています。参考にご覧ください。



新たな家庭学習モデル創出事業の成果

モデル校の取組から明らかになってきた改善のポイント

- A 授業と関連付けた家庭学習にする。
- B 家庭学習の内容について子どもたちが確実に理解したかを評価し、補充指導を行う。
- C 子どもたちが自分で見つけた課題に取り組む家庭学習にもチャレンジさせる。
- D 小中連携して9年間を見通して家庭学習を考える。
- E 子どもたちとともに家庭学習の内容や方法を考え、見直しをしていく。



改善のポイント A, E型

帰りの会に宿題を行う時間を確保しているP中学校

○改善の取組の具体例

- ・帰りの会の後半5分間で、宿題を行う時間を確保。何をやるかが明確になるよう必要に応じてアドバイスを実施。
- ・家庭学習の手引きを資料として、全校集会で学習の仕方を各教科から指導。

改善のポイント A, B型

授業で行った小テストの再テストを全校一斉に行うQ中学校

○改善の取組の具体例

- ・朝のドリルタイムでは見とどけが不十分なため、各教科の授業内に小テストを実施して授業内容と関連付けて補充指導。
- ・授業内で行った小テストの再テストを、全校一斉に場所を設定して実施。

改善のポイント B, E型

生徒それぞれの状況に応じた指導を行っているR中学校

○改善の取組の具体例

- ・全職員が1人につき数名の生徒を担当し、家庭学習の相談やアドバイスを実施。テスト前には、時間割の中に相談する時間を位置付けて質問等に対応。
- ・家庭学習の手引きを毎年更新。

改善のポイント C, E型

生徒が自分で計画を立てて家庭学習に取り組むよう支援しているS中学校

○改善の取組の具体例

- ・週末の提出ノートを廃止し、指定のノートに自分で計画を立てた家庭学習を行うように改善。
- ・週1回、自学の時間を設け、家庭学習の内容や進め方についてアドバイスを実施。